



| 分類      |                 | 分野              | 学習内容            | 学習内容の到達目標                                                    | 到達レベル | 授業週 |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|--------------------------------------------------------------|-------|-----|
| 分野横断的能力 | 態度・志向性(人間力)     | 態度・志向性          | 態度・志向性          | 周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。                              | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。                                 | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 目標の実現に向けて計画ができる。                                             | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 目標の実現に向けて自らを律して行動できる。                                        | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。                                | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。                              | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。                                  | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。 | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。                               | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。                                   | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。                                    | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。                                     | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている             | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 法令やルールを遵守した行動をとれる。                                           | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。                                      | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。              | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でのように活用・応用されるかを説明できる。              | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。                                   | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。                        | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 企業には社会的責任があることを認識している。                                       | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。                       | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。                   | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。                      | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。                           | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。                  | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。               | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でのように活用・応用されているかを認識できる。               | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。                             | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。                 | 3     |     |
|         | 総合的な学習経験と創造的思考力 | 総合的な学習経験と創造的思考力 | 総合的な学習経験と創造的思考力 | 工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。                                    | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。       | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 要求に適合したシステム、構成要素、工程等の設計に取り組むことができる。                          | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 課題や要求に対する設計解を提示するための一連のプロセス(課題認識・構想・設計・製作・評価など)を実践できる。       | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 提案する設計解が要求を満たすものであるか評価しなければならないことを把握している。                    | 3     |     |
|         |                 |                 |                 | 経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性等に配慮して解決策を提案できる。            | 3     |     |

#### 評価割合

|         | 実習先評価 | 発表 | 相互評価 | 態度 | 実習報告書 | その他 | 合計  |
|---------|-------|----|------|----|-------|-----|-----|
| 総合評価割合  | 30    | 30 | 0    | 0  | 40    | 0   | 100 |
| 基礎的能力   | 0     | 0  | 0    | 0  | 0     | 0   | 0   |
| 専門的能力   | 0     | 0  | 0    | 0  | 0     | 0   | 0   |
| 分野横断的能力 | 30    | 30 | 0    | 0  | 40    | 0   | 100 |